

松波小学校だより

第4号

令和6年7月19日

能登町立松波小学校

チャレンジ！夏休みしかできないこと

松波中のグラウンドでは急ピッチに松波小仮設校舎の建設が続いています。4月に6名の新入生が入学してきて、早くも4か月近くが過ぎました。今日で1学期は終了です。保護者の皆様におかれましては、今学期も本校の教育活動にご理解ご協力、ご支援をいただきましてまことにありがとうございました。皆様のおかげで、1学期の間、子どもたちは元気に充実した学校生活を送ることができました。

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。家族や人との交流、自然体験、お手伝い、よい本との出会い、時間をかけた作品作りなど、「夏休みでなければできないこと」「夏休みだから思い切り取り組めること」にぜひチャレンジしてほしいと思います。そして、「自分で決めたことをやりきったと実感できる夏休み」にしてほしいと願っています。

生活リズムがくずれたり、思わぬ事故に巻き込まれたりという可能性も高くなるのも夏休みです。健康面、安全面には十分気をつけてお過ごしください。

松波小学校 校長 宮本 秀人

文部科学省派遣スクールカウンセラーについて

学校再開直後より本校には、継続して文部科学省派遣スクールカウンセラーの皆様方がご支援に入ってくださいました。1月～2月は、岐阜県チームと三重県チームの皆様が交代で週に2～3回入っていただき、子どもたちや保護者の皆様、教職員に向けてのアドバイス・カウンセリングを行っていただきました。3月～現在までは岐阜県チームの皆様が継続して本校にご支援をいただいております。7月にはこころのアンケートやこころのサポート授業を子どもたち向けに行っていただき震災から半年たった子どもたちの心のケアに努めていただいております。



大きな震災を経験した子どもたちや教職員にどのような心的変化が現れるのか全く未知数の中、経験豊富なスクールカウンセラーの皆様がチームとして支えていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。2学期からどのような体制になるのかわかりませんが、週1回月曜日に来校されている石川県派遣スクールカウンセラーの紺谷先生に継続して見守っていただき、児童・教職員の心のケアにあたっていきたいと思っております。ご来校いただきました多くのスクールカウンセラーの皆様本当にありがとうございました。